



山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式） 非核自治体宣言の制定、平和市長会議への加盟を求める ―戦争による惨禍の記憶を風化させないよう努める―

問 本年6月3日の平和行進において要請された、原爆パネル展など平和行事の開催はどう予定しているか。

答 本年8月9日から16日まで、市役所3階の防災会議室において広島・長崎被爆展示写真「原爆と人間展」パネルの展示を行う予定である。

問 1976年の大晦日に依佐美の3号鉄塔にふれて感電死した少年の死を悼み造られた「受難の像」は、現在、願行寺に仮安置されている。フロラールガーデンよさみのミニ鉄塔の麓に移設することが望ましいと考えるがどうか。

答 戦後長年にわたり平和が維持されている現状から、改めて非核自治体宣言は考えていないが、市民の安全・安心を守る施策の推進と平和行政の取組みを通じ、戦争による惨禍の記憶を風化させないよう努力することが大切であると考える。

神谷 昌宏 議員（一問一答方式） さらなる電気料金の削減と節電対策を ―PPS導入施設を増やすとともに最適な設備を検討―

問 市内約80施設のうち25施設にPPSを導入した選定基準は何か。また、導入施設を増やす考えはあるか。

答 電力の負荷率の低い施設ほどPPS導入により、経費削減の効果が大きくなるため、電気料金が年額1千万円以上で、負荷率が約20%以下の施設を対象とした。また、改めて各施設の負荷率調査を行い、負荷率の低い20程度の施設にPPSを導入していきたいと考えている。

問 入札の条件として、単価以外に環境負荷が少ない電気かということも条件に付加する考えはあるか。

答 前回の入札では、愛知県電力の調達に係る環境配慮方針に基づいた条件で入札を行い、環境評価項目の点数が一定以上でなければ、入札に参加できないこととした。次回も、この方針に基づき行う予定である。

問 LEDより安価であり、コスト削減、環境負荷低減につながるHF蛍光灯への変更を検討、調査する予定はあるか。

答 電気設備のほか、外装や内装、空調設備等も計画的に修繕を行っていく考えがあり、機器の使用年数や既存機器の廃棄による環境負荷等を考慮し、更

新時点において、機器の性能等により最適な設備を導入していきたいと考えている。

櫻谷 勝 議員（一問一答方式） 想定にとらわれない災害対策を ―防災関連事業を計画的に実施―

問 防災意識を高める、防災教育への取り組み状況はどうなっているか。

答 防災教育は、児童生徒に災害から命を守るための確かな行動がとれる能力を身につけさせるなど、大変意義のあるものだと考えており、全小中学校で年2回以上、火災や地震を想定した避難訓練を実施し、小学校では、火災発生時を想定した保護者への児童引き渡し訓練を行っている。また、幼稚園との合同引き渡し訓練や地域と連携した合同避難訓練を実施している学校もある。

問 被災後の対応として、新しく指定された福祉避難所の必要事業があるか。

答 融資が円滑に行われるよう愛知県信用保証協会の保証により融資を受けた場合、その信用保証料の全部または一部を補助する事業や、中小規模の事業者が必要とする融資が行われるよう市内金融機関に資金を預託する事業を行っている。

問 県の産業空洞化対策である新あいち創造産業立地補助金Aタイプでは、補助対象が少ないため本市の中小企業が幅広く活用することができない。市内中小企業の経営基盤強化につながるような刈谷市独自の要綱を

鈴木 浩二 議員（一問一答方式） 地域産業活性化に向け、中小企業にさらなる支援を ―刈谷モノづくり大学を今年度よりスタート―

問 本市では、中小企業への設備投資策として現在どのような事業があるか。

答 本市の独自性も加え、産業空洞化の防止、雇用の維持拡大、経営基盤の強化等につながる制度を検討した。その結果、対象分野は限定せず、補助要件は県より緩和させ、対象企業を広げた制度とし、6月定例会に中小企業投資促進補助事業として補正予算案を提出した。

問 中小企業新開発マネジメント事業のうち、「刈谷モノづくり大学」の進捗状況はどうか。

答 4月から広報を行い、現在申し込みのあった企業から課題の内容を確認し、順次専門家の派遣を始めている。

新海 真規 議員（一問一答方式） 自転車利用に適した環境整備の要望に対する対応は ―刈谷市都市交通戦略による自転車ネットワークを形成―

問 逢妻川左岸のサイクリングロードの状況は。

答 逢妻川堤防管理用道路を利用した3メートルの幅員での整備を計画しており、総合運動公園から新幹線までの900メートルを昨年度施工し、日高公園までの残り1,100メートルを今年度施工する予定である。

問 3メートルの幅員では危険だと思いが、安全対策はどう考えているか。

答 県との協議により許可された左岸堤のみ転落防止柵を設置し、その他に路面表示による歩行者との分離や路肩に反射鏡を設置し安全対策に努めている。

問 昨年10月に警察庁交通局

編集後記

◆夏真っ盛り、街の隅々で子ども達の賑やかな声が飛び交うこの頃ですが、市民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

◆今夏も厳しい暑さの中、昨年にな引き続き国から節電要請がなされております。9時から20時までの節電、その中でも13時から16時までの3時間については、特に節電をお願いしたい時間帯としております。市役所においても照明灯の間引きや休憩中の消灯、冷暖房の適正管理など、様々な節電対策を講じています。

◆刈谷市議会でも、昨年までの委員会のみでのクールビズ実施から、本年度からは本会議においてもクールビズが実施され、六月定例会では「涼しい服装での熱い議論」が交わされました。

◆また、六月定例会では「刈谷市議会における信頼回復に関する決議」がなされました。平成18年に札幌市で開催されました全国都市問題会議への参加にかかる不祥事に対して、全会派の代表者で構成された政治倫理委員会を設置して、事実確認や当事者への措置、再発防止策などについて、6回にわたる審議を行って参りました。今回の議会だよりにはその内容も掲載しております。今後は、決議文にも表明いたしましたとおり、今回の出来事により失われました市の議会に対する信頼を取り戻すべく、議会が丸となって、議員活動に全力で取り組み、住民福祉の増進に努めて参ります。

◆今後とも市民の皆様方の厳しく且つ暖かい声をお寄せ頂きますようお願い申し上げます。
(議会広報委員会)